

胆のうの手術を受けられる患者様へ（入院治療計画書：胆のう摘出術）

ID：@PATIENTID

患者氏名：@PATIENTNAME 様

生年月日：@PATIENTBIRTH2 (@PATIENTBIRTH)

病名（症状）：急性胆のう炎

入院科/病棟：@USERBELONGSECTION / @PATIENTWARD

主治医：@主担当医 ㊟

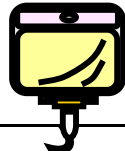
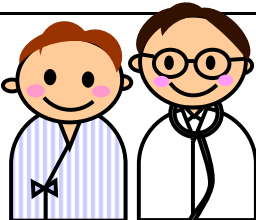
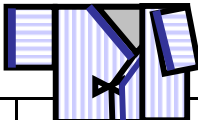
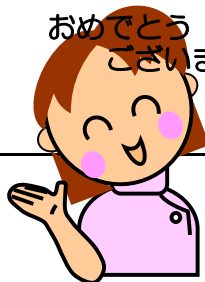
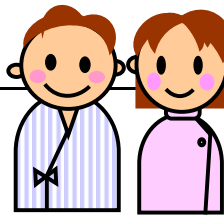
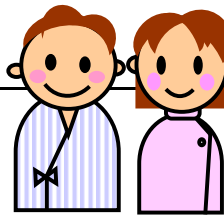
担当医：@担当医1

担当看護師：@担当看護師

主治医以外の担当者：薬剤師

管理栄養士

2020/01/15 作成

月／日	／		／		／		／	
経過（病日等）	外来	入院日	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	手術後1日	手術後2～3日	手術後4～7日（退院日）	
達成目標	①手術・治療について説明をうけ、安心して準備段階をすごすことができる。 ②わからないことは遠慮せず、医療者に確認することができる。		①術前準備について説明をうけ、安心して手術室へ出棟できる。 	① 医療者の問いかけ、指示に従うことができる（深呼吸） ② ベット上安静・絶飲食が守れる。 ③ 痛みを訴えることができる。	① 看護師介助のトイレ歩行ができる。 ② 看護師指示のもと、安全に初回飲食ができる。	① 術後偶発症について説明を受け、予防行動がとれる。	①退院後の日常生活の注意事項について説明を受け、安心して退院できる。	
治療・処置		○臍をきれいにします。 ○点滴をはじめます。 ○看護師が弾性ストッキングをはくお手伝いをします。 ○手術着に着替えます。 		○膀胱留置カテーテルが入ります ○酸素マスク・心電図をします。（お腹に管が入る場合があります） ○手術後の点滴をします。 ○抗生剤の点滴をします。	○酸素マスク・心電図をはずします ○傷口を確認します ○手術後の点滴をします。 ○抗生剤の点滴をします。	○傷口を確認します。（お腹の管を抜きます） ○手術後の点滴をします。 ○抗生剤の点滴をします。 ○昼食を半分以上摂取できれば、点滴は終了です	 おめでとうございます	
検査	○胸部・腹部のレントゲン写真、CT検査、超音波検査を行います。 ○血液検査、心電図、呼吸機能検査をします。			○採血をします 	○採血をします ○胸部・腹部のレントゲン写真をとります	○3日目に採血と胸部・腹部のレントゲン写真をとります。		
内服	○お薬を飲んでいる方は他院の薬を含めてすべて持参してください。 				○手術翌日より内服薬が再開になります。			
食事	 がんばりましょう！	○入院時より食事はお休みです。 ○手術前（手術まで）水分の摂取はお休みになります。 		○手術後は食べたり飲んだりはできません	○手術翌日朝より、飲水ができます。 ○手術翌日昼または翌々日より食事がとれます。 			
看護		○院内は自由です ○トイレで排泄ができます		○ベット上で安静にお過ごしください。 ○看護師が頻回に伺い、体温や血圧測定などを行います。 ○痛みがある時、眠れない時は看護師までお声をかけてください。点滴ができます。	○看護師が体を拭くお手伝いをします ○膀胱留置カテーテル抜去後、トイレで排泄ができます	○2日目以降シャワー浴ができます ○トイレで排泄ができます 		
リハビリ					○院内は自由です（1日1回以上は歩行練習を行いましょう）			
説明・指導	○外科医師より、入院の日程、手術について説明があります。 ○麻酔科を受診し、麻酔医の説明を受けます。	○医師より手術について説明があります。 ○看護師より入院生活について説明があります。 ○薬剤師より持参薬・服薬歴の確認を行います。	○手術前にうがい、歯磨きを済ませておいてください。 ○ヘアピン、義歯、貴金属類をおとりください。 ○手術前にトイレを済ませておいてください。	○担当医から、ご家族の方へ手術結果の説明があります 	○なるべく早期に歩いた方が回復が早まります。 	○退院後の生活についてご説明します ○特別な栄養管理の必要性があり、栄養士より退院後の食事についてご説明します ○次回の外来受診日についてご説明します		

★ 特別な栄養管理の必要性 有 ・ 無

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2 入院期間については現時点で予測されるものです。

ご不明な点は遠慮なくスタッフへお尋ねください。

高齢者総合評価の実施 ☐有 ☐無

総合的な機能評価	基本的生活動作	☐ 問題なし	☐ 要精査または要経過観察
	日常生活動作	☐ 問題なし	☐ 要精査または要経過観察
	認知機能	☐ 問題なし	☐ 要精査または要経過観察
	日常生活機能	☐ 問題なし	☐ 要精査または要経過観察

上記の説明を受け、治療内容を理解しました。

@SYSDAT2

説明者：

人： 続柄
()
公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター附属病院

